

— あなたの暮らしの応援団 —

JA佐波伊勢崎

飛翔

JA さ わ い せ さ き

2～3ページ

みどりの食料システム戦略とSDGs
地域と共に作る持続可能な食の未来

4ページ

令和7年度農事支部長代表のみなさん

15ページ

ゴールデンウィーク期間中の休業日
のお知らせ

2025

4

Vol.386



山口 祐介さんと母の幸子さん
従業員の石川 嘉彦さん(左)・新井 典夫さん(右)
(表紙の紹介は裏表紙)

〒372-0812 群馬県伊勢崎市連取町3096番地1
TEL.0270-20-1220 FAX.0270-23-8611
<https://www.ja-sawa.or.jp/>



JA佐波伊勢崎公式Instagram更新中!
さまざまなイベントや旬の情報が盛りだくさん



フォローや
「いいね」を
お願いします



みどりの食料システム戦略とSDGs

地域と共に作る持続可能な食の未来

みどりの食料システム戦略とは??

農林水産省では、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

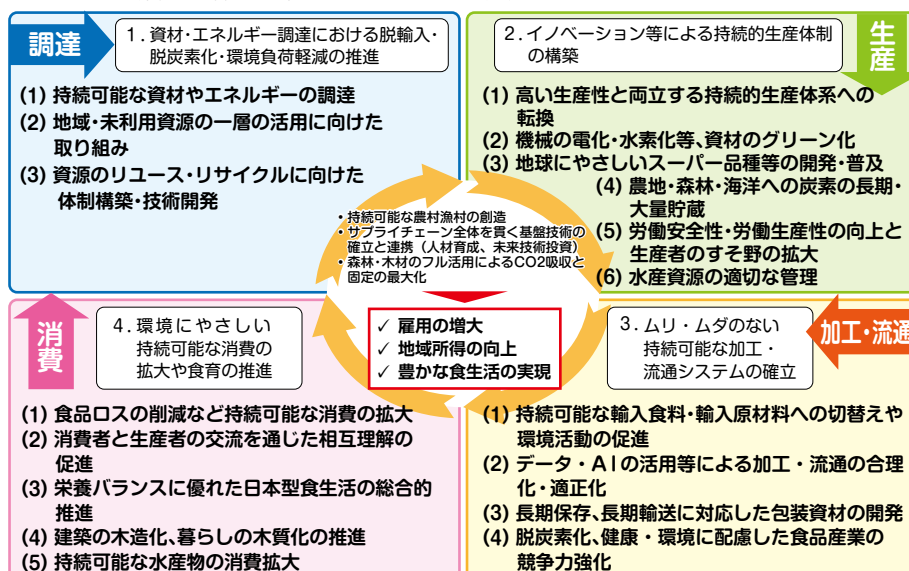
2050年までに 取り組むこと

- 農林水産業のCO2ゼロミッション化
 - 化学農薬の使用量（リスク換算）の50%低減
 - 化学肥料使用量の30%低減
 - 耕地面積に占める有機農業の割合を25%に拡大
- ほか、林野・水産含め計14のKPIを設定



みどりの食料システム（具体的な取り組み）

～食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現～



出典：「みどりの戦略」に取り組んでみよう！（農林水産省HP）（<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midori.html>）を加工して作成
みどりの食料システム戦略トップページ（農林水産省HP）（<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>）を加工して作成

みどりの食料システム戦略とSDGsの実現に向けて

みどりの食料システム戦略とSDGsは持続可能な農業の実現や気候変動への対応、地域経済の活性化などの面で密接に関連しています。そのため、日本の農林水産業を持続可能にすることは、SDGsの目標達成を目指す取り組みにもなります。

また、SDGsは2030年を目標達成年、みどりの食料システム戦略は2050年を目標達成年に掲げて、中間目標を2030年に設定しています。2025年の現在、JA佐波伊勢崎は各組織と連携しながら、目標達成に向けて取り組んでいきます。



参考：みどりの食料システム戦略トップページ / 「みどりの戦略」に取り組んでみよう！ / みどりの戦略施策活用ガイドブック / 「みどりの食料システム戦略」
KPI 2030年目標の設定（農林水産省HP）
SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは？17の目標ごとの説明、事実と数字（国際連合広報センターHP） /
SDGsについて（一般社団法人日本SDGs協会HP）

調 達

- ソーラーパネルの設置：なす・きゅうり選果場の屋根に設置し、発電した電気を再生可能エネルギーとして活用していきます。



みどりの食料システム 戦略とSDGsに 関連するJAの取り組み

- やっちゃんべー：ファーマーズマーケットからか〜ぜで生産部会同士が協力する合同イベントを開き、地元野菜のPRや消費者との交流を図りました。
- ひまわりフェスタ：境地区の「咲き誇れ伊勢崎ひまわり組」が畑の緑肥活用でひまわりを栽培し、化学肥料を低減しています。また、イベントにJAも協力しています。
- 学校給食：地元野菜を年間通して、管内の小中学校の学校給食に出荷しています。品目には年間を通して米やニラ、キュウリなどがあり、旬の野菜にはアレッタやキャベツなど様々です。



▲やっちゃんべー

消 費

生 産

- J-クレジット：水田の中干し期間を延長しガスの発生を抑え、その削減量をクレジットとして販売することで農家に収益が還元されます。
- 化学農薬・肥料の使用を低減する取り組み
 - ・エコファーマーの取得推進
 - ・施肥面談会での適量な肥料の提案
 - ・IPMへの補助… IPM(総合的病害虫管理)は農薬の使用を減らすことで、経費を一部補助する助成制度の利用を推奨
 - ・炭炭(もみ殻や果樹の剪定枝などの廃棄物をリサイクルした土壌改良材)の実証



▲エコファーマー申請会



- DX化：青果物の出荷をする際に従来は紙の伝票を使っていましたが、業務の効率化を図るためにnimaruJAというアプリケーションサービスを試験導入しています。スマホやタブレット端末で伝票作成や生産者と営農センター担当者との出荷予定などのやり取りを円滑に行い、流通の合理化を図っています。



加工・流通

参考：SDGsのアイコン(国際連合広報センターHP)

出典：「みどり戦略」に取り組んでみよう！(農林水産省HP)(<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/midori.html>)を加工して作成

これからのJA佐波伊勢崎の取り組み

みどりの食料システム戦略とSDGsの実現は、持続可能な農業や地域経済の活性化を目指すこととなります。農業が様々な課題に直面している中でも、地域の食文化を守り地産地消を推進するために、JAは引き続き地域の生産者や消費者との繋がりの強化に取り組んでいきます。またJA佐波伊勢崎は、農業振興や生活に必要なサービス提供を通じ、地域社会の発展に貢献できるようこれからも活動を行っていきます。

令和7年度 農事支部長代表の みなさん

◎は各地区農事支部長会会長、○は副会長。敬称略

伊勢崎地区

◆北支店（みさと）

○鍛冶原 関口 恵一

◎岡屋敷 細井 喜也

○太田本郷 小暮 彰

◆北支店（いせさき）

◎八幡町 菊池 章行

○華盛寺町 川端 秋雄

◆北支店（うえはす）

○上植木町 膳 宗雄

○易岩下 久保田 光一

◎昭和町 大島 秀文

◆中央支店

◎南千木町 菊池 京一

○茂呂南町 福田 清

◆南支店（とようけ）

◎本 松波 勝利

○飯 島 石井 寛治

◆南支店（なわ）

◎柴第一 渡辺 範雄

○中 町 小暮 文明

◆南支店（さんのおうどう）

◎宿 山口 祐介

○東 吉井 豊

◆みやごう支店

○連取元町 加藤 柳司

◎宮古町 宇野 正巳

東地区

◆あずま支店

◎下 竹澤 克治

○上 田 桑原 秋雄

境地区

◆さかい支店（うねめ）

○馬 場 小林 和章

◆さかい支店（さかい）

◎平 塚 田部井 靖

玉村地区

◆たまむら支店（しばね）

○飯 倉 齋藤 實

◎下之宮 原 幹雄

◆たまむら支店（たまむら）

○新 田 渡邊 俊彦

○角 淵 岡部 和行

◎板 井 羽鳥 尚利

◆たまむら支店（じょうよう）

○飯 塚 米山 昭一

◎上福島（下） 内山 耕一

赤堀地区

◆あかぼり支店

○香林下 石井 秋治

◎今 井 中里 進

その他の農事支部長につきましては、各支店までお問い合わせください。

農事支部とは

相互扶助と協調を図り協同運動に参加することで、農家経済の発展と組合員の地位向上を図ることを目的に設立された組織です。



こんなお悩みはありませんか？



支部構成員が少なくなっている

役員を引き受けてくれる方がいない

高齢化により支部長の選出が難しい

- JA佐波伊勢崎では農事支部の統合を推進しています。支部組織活動の活性化と運営の効率化を図り、かつ機能を強化するため、農事支部の統合をご検討ください。
- 統合した農事支部の構成員の皆様に、奨励金を交付する奨励措置があります。ぜひご活用ください。

詳しくは、本店管理課（TEL 20-1220）またはお近くの支店までご連絡ください。



小林 昭男
共済事業部 普及推進係係長
(スマサガ短期トレーナー)
平成6年3月1日
佐波伊勢崎農協入職
勤続年数31年1ヵ月(※)



井上 勝美
あかぼり営農センター
平成元年11月1日
伊勢崎市農協入職
勤続年数35年5ヵ月(※)

お世話になりました 定年退職者



(※)継続契約職員として今後も
お世話になります。
よろしく願います。



月田 英樹
農機センター 調査役副店長
平成2年3月1日
玉村町農協入職
勤続年数35年1ヵ月



岡本 雅文
共済事業部 部長
昭和63年4月1日
伊勢崎市農協入職
勤続年数37年(※)



井上 慶二
あかぼり営農センター
平成6年3月1日
佐波伊勢崎農協入職
勤続年数31年1ヵ月

きゅうり選果場利用組合 促成きゅうり目揃え会

3月11日、きゅうり選果場利用組合はなす・きゅうり選果場で促成きゅうり目揃え会を開き、生産者47人が参加しました。

5つの市場担当が他産地を含めた販売情勢を報告し、前年を上回る出荷を要望しました。また、A品から規格外品まで出荷規格を改めて共有し、サンプルを見ながら曲がりや重さ・切り口など選別基準に満たないものを確認しました。

出荷は7月まで続き、シーズンを通して高品質なきゅうりの安定出荷を目指します。



第1回半促成なす新規講座

2月18日、佐波伊勢崎地域担い手育成総合支援協議会は、伊勢崎地区農業指導センターで第1回半促成なす新規講座を開き、生産者7人が参加しました。

講座では、伊勢崎地区農業指導センターの担当者が、「PC鶴丸」の栽培について説明し、ポイントとして初期の草勢を安定させることが大切と話しました。

また、土壌分析に基づいた施肥や土作りの必要性を共有しました。





第45回

伊勢崎市ブラックアンドホワイトショウ

3月3日、伊勢崎市乳牛改良研究会は乳用牛の資質を競う伊勢崎市ブラックアンドホワイトショウを開き、7頭の牛が出品されました。

今回は伊勢崎市役所の職員が撮影した動画を見て、審査を行いました。未経産の部では「ハーレムDHヒラリークイーン」、経産の部では「ハーレムHBアクシア」と共に根岸貴明さんが出品した牛がグランドチャンピオンとなりました。また、ここで選ばれた2頭は3月22日に渋川家畜市場で行われた第51回群馬県ブラックアンドホワイトショウに出場しました。

広域種子センター説明会

2月19日、群馬県米麦大豆振興協会はたまむら支店で広域種子センターの説明会を開き、生産者20人が参加しました。

県内の米麦種子の調整作業を担う3カ所の種子センターが老朽化しているため、当JAの旧じょうよう支店の敷地に「群馬県米麦種子センター」を整備し、今年から1カ所に集約します。

広域種子センターの運営は「一般社団法人群馬県米麦センター」が行い、作業全般をJAが受託します。説明会では種子の搬入時に検査する水分率の基準や荷受重量に対する1kgあたりの調整料金などを共有しました。



▲あいさつをする重田代表理事組合長

ちぢみほうれんそう出荷反省会

3月14日、JA佐波伊勢崎園芸協議会ちぢみほうれんそう専門部は、とれび庵でちぢみほうれんそう出荷反省会を開き、生産者14人が参加しました。

市場担当者が販売経過などを報告し、厳しい出荷規格を設けて高品質で出荷していることが有利販売に繋がったと話しました。

今作を振り返り、来作に向けた対策を伊勢崎地区農業指導センターの担当者が説明しました。播種期の9～10月に降水量が多く、ほ場が冠水して生育に影響が出たため、サブソイラーなどを使って土壌の排水性を良くするよう呼びかけました。



にがうり栽培講習会

3月17日、JA佐波伊勢崎園芸協議会いせさき支部露地部会は、いせさき営農センターでにがうり栽培講習会を開き生産者14人が参加しました。

栽培講習会では、伊勢崎地区農業指導センターの担当者が栽培管理や病害虫防除について話しました。高温性の作物のため、生育には十分な温度が必要です。極端な早まきは避け、早めに定植する場合はトンネル被覆など温度を確保するよう注意を呼びかけました。また、ネコブセンチュウやつる割病などの病害虫対策を重点的に説明しました。



令和7年度新入学交通安全資材贈呈式

3月17日・24日、当JAは伊勢崎市役所と玉村町役場で令和7年度新入学小・中学生への交通安全資材の贈呈式を行いました。

この取り組みはJA共済地域貢献活動の交通安全対策の一環として、小学生にランドセルカバーを贈呈しています。昭和51年から始まり、今年で50回目と長く続いています。また、中学生には「改定した自転車安全利用五則」の順守を呼びかけるクリアファイルを贈呈しました。

▶(中央右)臂市長
(中央左)重田代表理事組合長



(中央左)重田代表理事組合長▶
(中央右)石川玉村町長



▲入賞者とJA常勤役員

令和6年度中堅職員人材育成研修

2月21日、当JAは本店で卒業論文発表会を開き、各事業部から選出された職員9人が発表しました。

全8回の研修を通して学んだことや自身の仕事の経験などを交えながら、課題解決のための方法を発表しました。その後、JA役職員が総合的に審査し、上位3人を選出しました。

最優秀賞には「職員の業務に対する意識について」を発表した梶山佳佑さんが選ばれました。

JA佐波伊勢崎女性組織協議会 第47回ちゃぐりん感想文

2月18日、JA佐波伊勢崎女性組織協議会は、伊勢崎市立宮郷第二小学校で「第47回ちゃぐりん感想文」の受賞者へ表彰状および記念品を贈呈しました。

全国から1988編の応募があるなか、佐波伊勢崎管内では同校の5人の児童が受賞しました。おめでとうございます。

【優良賞】伊勢崎市立宮郷第二小学校 5年生
石川聖己 小笠原詩 館山彩花
平松優月 星真尋



▲児童に指導する西村敦子部長

JA佐波伊勢崎女性組織協議会 茶道体験教室

2月17日、JA佐波伊勢崎女性組織協議会の目的別グループ「茶道部」は境剛志公民館で、伊勢崎市立境剛志小学校の6年生に向けて茶道体験教室を開き、児童と先生合わせて33人が参加しました。

地域貢献活動の一環として協力しており、今年で3回目となります。部員によるお点前を見学した後、子どもたちは作法を教わりながらお菓子とお茶を味わいました。



▲受賞を祝う阿佐見洋子会長(右)

3/1(土)・3/2(日)

たまたん CHALLENGE 女子サッカー U-15 に協賛

玉村町北部公園サッカー場で開催された「たまたん CHALLENGE 女子サッカー U-15」に協賛し、農産物やパンの販売を行いました。からか〜ぜたまむら店が出店し、地元産のキュウリやイチゴ、焼きたてパンなどを取り揃えて参加者や観客に地元の味を広くPRする貴重な機会となりました。



新鮮野菜を
買い求める
来場者



3/8(土)

初恋トマト部会が 「いちかわごちそうマルシェ」に出店

千葉県の市川地方卸売市場で行われ、部会員やJA職員が佐波伊勢崎産の高糖度ミニトマト「ルージュの宝石箱」をPRしました。来場者には試食を通じて味を知ってもらい、ケースとスタンドパックの販売を行いました。県外の方々に向けて、佐波伊勢崎産の農産物の魅力を伝えることができました。



3/15(土)

農業キッズプログラム事業

伊勢崎市が2022年度から行う「農業キッズプログラム事業」にJAも協力しています。2024年度はキュウリとイチゴをテーマに活動をしました。今回は、2月に境地区の手嶋裕一さんのハウスで定植したキュウリの収穫体験を行いました。その後、伊勢崎興陽高等学校では高校生に教わりながら、キュウリのピクルスやイチゴのサンドイッチを作り、栽培から加工までの工程を学びました。



▲収穫方法を教える
手嶋裕一さん

頑張って
作っています！



地元農家の活動紹介

3/8(土)・9(日) ブロッコリー狩り



たくさん
採れました

3月8・9日、境伊与久の塩谷剛久さんはブロッコリー狩りを開き、家族連れやお年寄りなど約60人が参加しました。

塩谷さんは当JAやコープぐんまの収穫体験に協力しており、その経験を活かして収穫しきれなかったブロッコリーをどうにかしたいと企画しました。インスタグラムを中心に参加者を募集し、県内外から友人や趣味のサッカー仲間、SNSのフォロワーなど幅広い世代が集まりました。

3/11(火) 地元高校の授業に協力

3月11日、玉村町の金田圭一郎さんは群馬県立玉村高等学校で行われた「総合的な探究の時間」発表会に参加しました。

昨年、金田さんは1年生の授業に協力し、地元の農業を若い世代に伝えるために講師を務めました。

生徒らは「玉村町の産業を知り地域活性化、誘客の方策を研究する」をテーマとし、地元を活性化するために地産地消に貢献する非常食や学生食堂などを発表しました。次世代が地元の農業について考える機会となりました。



発表をする高校生



ほうれん草と鶏肉の油揚げ巻き

材料【2人分】

- 鶏もも肉……………250g
 - 塩……………小さじ1
 - ほうれん草……………100g
 - 油揚げ……………2枚
 - 片栗粉……………適量
 - サラダ油……………適量
- A ●酒……………大さじ1/2
●しょうゆ……………小さじ1/2
●塩……………小さじ1
●溶き玉子……………1/2個分
- B ●小麦粉……………小さじ1/2
●片栗粉……………小さじ1/2
●水……………大さじ1/2
- C ●トマトケチャップ……………大さじ2
●豆板醤……………小さじ1/3

作り方

下準備

- 油揚げの長い一辺、短い二辺を切り落として開いておく。
- ①鶏もも肉を包丁で細かくたたき、Aと混ぜ合わせて2つに分ける。
- ②塩を加えた熱湯でほうれん草を1分ゆでる。
- ③油揚げの内側に片栗粉を軽くふる。①をそれぞれ、油揚げの上に平らに乗せて②を半分ずつ乗せる。油揚げの端から巻き、巻き終わりにBでのり付けして止める。
- ④サラダ油を160℃に加熱し、のり付けした面を下に向けて4分揚げげる。片面も4分揚げたら、適宜返しながらか1分揚げげる。2cm位に切り、盛り付けてCを添えたらできあがり。

わたしの おすすめ料理

玉村地区

掛川 悦子さん

Let's enjoy cooking!!



★ワンポイント
アドバイス★

タレはお好みであんかけにしてもおいしいです。

4月

うたの ひろば

玉村地区女性部短歌会

紅を引き 姉さんかぶり 軽やかに
上州よいとこ 輪になり踊る
原 藤枝

ほほそめて 少女のように 色づきぬ
蒼のいろは 青に染まらず
櫛淵 俊子

JA佐波伊勢崎女性組織協議会
助けあい組織「たんぼの会」
JA常勤役員との意見交換会

2月20日、JA佐波伊勢崎女性組織協議会と助けあい組織「たんぼの会」は、本店でJA常勤役員との意見交換会を開き、24人が参加しました。

意見交換会では、女性組織活動における課題やJAへの要望など、さまざまな意見が出されました。高齢化による会員の減少など、各地区で切実な問題となっています。組織の活性化に向けて次世代の若い会員を増やす対応策として、募集方法などを検討してほしいと話しました。



伊勢崎・東・境・玉村地区
みそづくり

2月3日から3月13日にかけて、各地区の女性部は調理施設「はなみずき」および「かきつばた」でみそづくりを行いました。

地元産の米・大豆を使った添加物の入っていないみそで、毎年好評の行事です。伊勢崎地区と玉村地区は人数が多いため、2回に分けて行いました。

大豆の下処理や米麴の仕込みなどを部員が交代で行い、みそづくりを通じて交流も深めました。



▲豆をミンサーですりつぶす作業
(玉村地区女性部)

女性部員募集!

農家の女性も、農家でない女性も、大歓迎です。
JA佐波伊勢崎企画課 0270-27-3033 までお問い合わせください。

水稻の初期管理について



昨年は育苗期の高温や出穂期の降雨により、もみ枯細菌病が多発しました。種子消毒の徹底や育苗時の温度管理に注意し、健苗育成に努めましょう。



写真 もみ枯細菌病

1 育苗管理

① 種子消毒

種もみ量は網袋の半分程度とし、薬液が十分浸透するようにします。種もみ1kgに対して薬液2ℓを準備します。薬剤を攪拌し、浸漬中も1〜2回かき混ぜましょう。

② 浸種・催芽

種もみ1kgを4ℓの水に浸します。積算水温（水温×日数）は100℃が目安です。酸素不足にならないよう1〜2日毎に水の交換を行いましょう。水温が30℃を超えないよう、直射日光の当たらない場所に置きましょう。

③ 出芽

病害の発生を防ぐため、出

芽中の温度が30℃を超えないように注意し、積み重ねを行いましょう。

④ 緑化・硬化

育苗プールに並べて3日程度は、水を張らずに上からかん水します。

寒冷紗等をかけて、強い光と寒さに当たらないようにします。

緑化後は寒冷紗を外し、1.5葉期以降は2cm程度水を張り、水がなくなったら静かに入水します。

2 ほ場の準備

① 土づくり

土壌pHは6.0〜6.5を目標とします。

地力維持のため、堆肥やわら類を積極的に施用しましょう。根域確保のため作土深は15cm以上を目標とします。

ケイ酸は、水稻に必要な養分で、耐倒伏性や耐病害虫性を高める効果もあるため、十分な量を施用しましょう。

② 麦わらすき込みの留意点

麦わらが短すぎると浮き上がりやすくなるので、麦收穫時に10〜15cm程度にカットします。

耕耘は作業速度を遅くし、できるだけ深く耕します。

代かきはおく浅水でロータ

リーの回転数を落とし、速度をやや遅くしましょう。

◆麦わら分解等によりガス害が発生する場合、除草剤散布一週間後頃から、水の入れ替えによりガス抜きを行いましょう。

③ 基肥の施用

表を参考に、品種毎に適正な基肥を施用しましょう。側条施肥は施肥効率が高まるため、基準より減肥して下さい。

表 基肥施肥基準量 (kg / 10a)

品種	窒素	リン酸	カリ
あさひの夢	6〜7	8	7
ゆめまつり	6〜7	8	7
いなほっこり	4	8	7
コシヒカリ	1〜2	8	7

④ 流出防止対策

一発肥料に使用されているプラスチックの被覆殻を水田から流出させないよう、浅水で代かきを行い、強制落水は行わないようにしましょう。

3 雑草対策

① 除草剤散布後3・4日間は水深3〜5cmを保ち、7日

間は落水やかけ流しを行わないで下さい。

② 均平に代かきを行い、わらくス等の浮遊物を減らしましょう。

③ ジャンボ剤やフロアブル剤は浮草や藻が多いと成分が拡散しにくいので注意しましょう。

④ 大雨が予想される場合は散布を控えましょう。

⑤ 土の戻りが悪い場合は薬害が出やすくなるため、田植え同時処理は行わないで下さい。

4 病害虫防除

箱施用剤等を活用し、初期の病害虫防除を心がけましょう。

昨年は管内でもカメムシ類の被害が増加したため、畦畔除草を徹底し本田への飛び込みを防ぎましょう。



写真 イネカメムシ

（伊勢崎地区農業指導センター）

俳句

コーヒを飲んでうたたね春炬燵
表畑に黄色帽子見えかくれ

伊勢崎市戸谷塚町 樋口 幸子

今朝の窓そこまで響く春息吹き

野には野の路地には路地の啓蟄日

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

百態の花には花の影のあり

古鋏を研ぐ手の平に春の雨

伊勢崎市境下武士 中島 薫

空き家には捨て猫住みぬ牙返る

玉村町上新田 新井 和夫

背伸びして深呼吸して春なかば

朧月連れて銭湯より帰る

兵庫県明石市 小田 慶喜

陽炎に放り込みたき武器兵器

踏むたびにふはい目覚める春の土

兵庫県明石市 小田 和子

川柳

合意せず鉱物資源会談で

寒風でいつもの散歩きりあげて

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

つぶやいたビール飲みたし麦が鳴く

玉村町上新田 新井 和夫

蟻穴を出で背伸びしている大地

春場所の力士ゴツンとデカき音

兵庫県明石市 小田 慶喜

燕来てチチチチチとよく喋る

紋白蝶追う子も少なくなりし里

兵庫県明石市 小田 和子

短歌

鉄の柄に身をあづけつつ空仰ぐ

カラスのだみ声優しと聞けり

庭先に仕舞い忘れしスニーカー

花びらたまり雨にぬれをり

伊勢崎市波志江町 小倉キヌ子

湯の街の明りが灯る奥利根に

のぼりくだりのもぐら駅

蜜柑好きメジロの家族日々通う

残果ついばむカーテン越しみ

伊勢崎市境下武士 遠藤 勝治

久し振り春雨貰ひ田の麦は

かぶりつき飲み日に日に伸びぬ

玉村町上新田 新井 和夫

草餅を妻と半分ずつ食べる

物足らなさは笑顔で満たし

春の野を歩めるほどに回復し

両脚人工股関節の身

兵庫県明石市 小田 慶喜

剪定の鉄の音が軽やかに

響く公園三周歩む

雄ケンケン鳴いて再び静かなる

里に鉄打つ音の響きぬ

兵庫県明石市 小田 和子



蒲公英

伊勢崎市戸谷塚町 飯島美枝子

方形の残る芝生の緑もたげ

朝陽さす庭蒲公英の咲く

蒲公英の萎ゆる夕べに芝を剥ぎ

根ごち引き抜く痛む心に

沼の辺に根付き咲きませ蒲公英よ

此処は吾の庭芝を守らむ

編集後記

3月は花粉症と風邪が併発して、症状が治まるまで大変辛い思いをしました。編集担当は先日新車が納車されたのですが、目視で分かる程に花粉が車に付着してしまいました。車が汚れるのは悩ましいですが、ドライブが好きなので天気の良い日は外出したくなりますね。洗車を頑張つて、きれいな車で春を楽しむと思います。



読者の声

飛翔2月号に寄せられたおたよりを紹介します。

毎号楽しみにしています。今月の玉村町、表紙の原さんご家族の写真が微笑ましいですね！ご家族の表情から、仲の良さが伝わってきます。若手就農者の活躍が楽しみです。(Sさん)

毎月読んでいただき嬉しいです。2月号の表紙に玉村町の原さんご一家に出会えました。3世代で出たいただき、とても和やかな撮影現場になりました。表紙のお子さんが持っている野菜は、全部原さんの畑で収穫した野菜なので、多品目を栽培しているのが伺えますね。ぜひ、これからの農業を担う若手農家への応援をお願いします。

食と農についての未来、今回の飛翔を見なかったら全く知らないままでした。世良い勉強になりました。世

の中の視野が広がりました。(Mさん)

2月号の特集についてのお便りありがとうございました。編集担当もこの記事を作るまで、知らなかった知識を得られて勉強になりました。また、持続可能な農業の実現には、生産者の努力だけでなく、消費者の皆さんのご理解の上に成り立つものだと思います。JA佐波伊勢崎はこれからも地域農業に貢献してまいりますので、よろしくお祈りします。



(Tさん)

今回はかわいいワニのイラストをいただきましたのでご紹介します。

お知らせ

日頃より広報誌をご愛読いただき、誠にありがとうございます。

この度、皆様に楽しんでいただいているクロスワードクイズに新しい応募方法が加わりました！

これまでの応募方法に加え12ページのQRコードを読み取って簡単に答えを送信できるようになりました。

また、俳句や写真、イラストなどもコチラから応募できるようになりました。ハガキや封書でのご応募も引き続きお待ちしております。

素敵な作品は広報誌に掲載させていただきますので、作品にはお名前とコメントを添えてください。

【ハガキや封書での応募方法】

〒372-0812 伊勢崎市連取町3096-1
JA佐波伊勢崎広報係宛にお送りください。



※投稿・応募いただいた方の個人情報は紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。前記の目的以外には使用いたしません。



食べ物で春バテ対策

季節の変わり目は、頭痛、胃もたれ、倦怠（けんたい）感など体調を崩しやすい時期です。特に春は、寒暖差が大きい時期で、異動や転勤など、生活環境や人間関係にも変化が起こりやすいため、心や体に不調を感じる人が多いといわれています。

春バテ対策には自律神経を整えることが大切です。今回は、おいしく食べて春バテ対策ができる、お薦めの食品を二つご紹介します。

■かんきつ「不知火」（デコボン）

自律神経を整えるためには、腸内環境を整えることが必須です。幸せホルモンと呼ばれ、自律神経のバランスを整えるために必要なセロトニンは9割が腸で作られるからです。腸内環境を整えるためには、おなかの調子を整える働きがある食物繊維が豊富に含まれている食品を取ると良いでしょう。

特にお薦めなのが今が旬のかんきつ「不知火」（デコボン）です。また、「不知火」にはメラニンの生成を抑

える働きがあるビタミンCが豊富に含まれています。メラニンが過剰に生成されると、しみ、そばかすの原因になるので美しい肌を保ちたい方にもお薦めです。食後や間食に「不知火」を食べると良いでしょう。

■チーズ

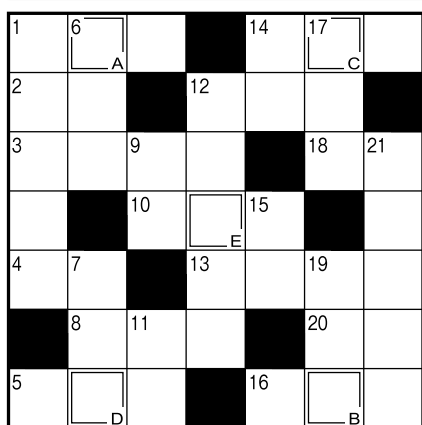
自律神経を整えるためには、セロトニンを増やす食品を取るのも大切です。セロトニンの合成に不可欠なトリプトファンを含む食品を取ると良いでしょう。

忙しい朝でも手軽に取れるチーズには、トリプトファンが豊富に含まれています。そのまま食べるのも良いですが、野菜炒めや具だくさんのスープに入れると、食物繊維も一緒に取れるため、さらに自律神経を整える効果が期待できます。

春バテに負けないために、3食ともバランスの良い食事を取ること重要です。



クロスワード



■2月号の答え

ウ グ イ ス

ヨコのカギ

- ①端午の節句に——人形を飾った
- ②鉛筆にもリングにもあるもの
- ③2018年ごろに大流行した——ミルクティー
- ④漢字などの読み方を示す小さな文字
- ⑤小学校で一番授業が多い科目
- ⑥福島県の——は浜通りと呼ばれます
- ⑦カァカァと鳴きます
- ⑧スロバキアと分離してできた国。首都はブラハ
- ⑨フラダンスの腰で揺れるもの
- ⑩初夏でも強く照りつけることがあります
- ⑪漢字では雲雀、日晴鳥などと書く鳥
- ⑫三毛、トラ、サバといえ
- ⑬ギュッと押すと気持ちいい

タテのカギ

- ①ひげそり前に顔に押し当てる人もいます
- ②その泉は——的な空気に包まれていた
- ③日本には謙譲の——の精神があります
- ④周囲より小高くなっている土地のこと
- ⑤大きなビルが——のタケノコのごとく増えてきた
- ⑥ひじをグッと曲げて出します
- ⑦雑穀の一つ。アワやキビと並んで知られています
- ⑧ちらしやにぎりがあります
- ⑨大勢の人が床のあちこちで眠ること
- ⑩結んでお吸い物に入れることもある葉野菜
- ⑪5月の空を泳ぎます

ご応募方法

- クロスワードを解き、A～Eの順に文字を並べてください。
- ハガキに ①答え ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤職業 ⑥電話番号 ⑦本誌の感想やイラストなどをご記入のうえ、〒372-0812 伊勢崎市連取町3096-1

J A 佐波伊勢崎広報係宛にお送りください。

※投稿・応募いただいた方の個人情報はプレゼントの発送、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。前記の目的以外には使用いたしません。

- 締め切りは5月8日（木）（当日消印有効）

クイズ当選者には、抽選で5名の方に直売所利用券をプレゼント。



こちらからも
ご応募
できるように
なりました!!

当選者発表

2月号クイズ当選者は次の方々です。おめでとうございます。

【応募総数31通】（ ）は町名、敬称略

木村 敦也（伊勢崎市田中島町）
平野もと江（伊勢崎市東町）
佐藤 和弘（伊勢崎市境）
竹内 誠一（玉村町南玉）
阿佐見温雄（伊勢崎市香林町）

事業の概要

令和7年2月末日現在

項目	金額	前年対比
貯金高(実残)	1,824億2,537万円	98%
貸付金高(実残)	515億8,655万円	101%
長期共済保有高	3,690億2,370万円	97%
購買品供給高	49億1,635万円	110%
販売品販売高	117億3,274万円	108%
項目	員数・金額	前月対比
正組合員	5,911人	-57人
准組合員	13,694人	-73人
総組合員	19,605人	-130人
出資金	24億3,855万円	-719万円

退職者

お世話になりました。(3月31日付)

- ▷ 常見 昌宏 《直販課 (からか〜ぜ)》
- ▷ 水谷かずき 《さかい営農センター》
- ▷ 新井 翔太 《あずま支店》
- ▷ 岡本 泰宏 《農機センター》

理事会

2月28日、本店で理事会が開催され、次の事項が協議されました。

【協議事項】

- 令和7年度内部監査方針・内部監査計画(案)について
- 固定資産減損会計における資産のグルーピングの変更について(案)
- 令和6年度決算見込について
- 役員賠償責任保険加入及び掛金の個人負担について(案)
- 令和7年度コンプライアンス・プログラムについて(案)
- 令和8年度職員採用方針(案)について
- 余裕金運用等にかかる重要な運用方針(案)について
- 令和7年度の余裕金運用について(案)
- 令和7年度 余裕金運用方針・計画について(案)

【報告連絡事項】

- 令和7年度監事監査計画書について
- 1月末組合員数及び出資金額一覧表について
- 1月末金融事業部実績について
- 共済推進実績について
- 1月末営農販売事業部実績について
- 1月末生活事業部実績について
- 1月末資産運用事業部実績について

【その他報告連絡事項 26件】

※理事会の議事録は支店で閲覧できます。
支店長にお問い合わせください。

税務無料相談 《開催場所：JAラ♡ラ♡タウン》

予約制

税理士法人いずみ	5月1日(木)	6月5日(木)	午後2時〜
千川会計事務所	5月22日(木)	6月19日(木)	午後2時〜

法律無料相談 《開催場所：本店》

予約制

田中・二階堂法律事務所	5月14日(水)	6月11日(水)	午後1時〜
-------------	----------	----------	-------

各支店窓口へお気軽にご相談ください。
(※当日3日前までにお申込みください。)

年金無料相談

予約制

JAラ♡ラ♡タウン	5月11日(日)	午前9時〜午前11時まで
-----------	----------	--------------

お気軽にご相談ください。ご予約は ☎0270-20-1234まで
(※当日3日前までにお申込みください。)

農業者年金

老後生活への備えは十分ですか？

老後の備えは **国民年金 + 農業者年金！**

- ◆ 支払った保険料は **全額社会保険料控除の対象！**
- ◆ **運用益は非課税！** ◆ 農業経営の状況に応じて保険料を増額し節税額をアップ！

※詳しくは、お近くの農業委員会、またはJAへ



直売所通信

Vol. 49

今回は
直販課

直売所への 出荷募集!!

JA佐波伊勢崎の直売所は
地元生産者の農産物の販売を
行っています。

自慢の野菜を
出荷しよう!

直売所では
プロの農家はもちろん、
家庭菜園での農産物を
直売所へ出荷してくださる
方を募集しています!!



パートさん 募集中!!

直売所で一緒に
仕事をしませんか!



からか〜ぜ からか〜ぜ からか〜ぜ
たまむら店 まゆの郷

では一緒に働いてくれる
パートの方を募集中です!

—— お気軽にお問い合わせください。——

お問い合わせ先

JA佐波伊勢崎直販課

TEL 0270-27-5565

6月2日は自動車税(種別割)の納期です!

自動車税(種別割)は、毎年4月1日現在、運輸支局に登録されている自動車の所有者に課税されます。5月上旬に自動車税事務所から送付される納税通知書により、納期限までに納めてください。

自動車税(種別割)は、道路の整備だけでなく、医療、福祉、教育の充実など、安心・安全な暮らしを確保するための財源として大切に使われています。

納期限までに忘れずに納めましょう

納期限 **6月2日(月)**

納税場所・方法

- スマートフォンアプリ
- クレジットカード(「地方税お支払サイト」からのご利用となります。)
- 全国のコンビニエンスストア
- JA本・支店、銀行など県内の金融機関、郵便局
※「地方税統一QRコード」対応の全国の金融機関、郵便局などでも納税できます。
※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Pay-easy(ペイジー)対応のATM・インターネットバンキング
- 口座振替
(これから申し込まれる場合は、令和8年度からのご利用となります。)
- 行政県税事務所・自動車税事務所

【自動車税特集ページ】<https://www.pref.gunma.jp/page/138434.html> →



※軽自動車税(種別割)は市町村に納める税金です。
納期限・納付場所等は伊勢崎市・玉村町にお問い合わせください。

お問い合わせ先

- 伊勢崎行政県税事務所 ☎ 0270-24-4350
- 自動車税事務所 ☎ 027-263-4343



シロアリ対策は
JAにおまかせ
ください

無料床下診断実施中です
施工は有料となります。

診断・見積りだけのご利用也大歓迎!

私たち
アサnteが
地域を巡回します



白アリ



羽アリ



なかなか見る機会がない床下ですが、床下で発生する結露やカビを放置すると、やがては木材が腐ったり、湿気を含んだ木材を食べて増殖するシロアリの温床にもなりかねません。

WEB 申込は
こちらから



生活事業部 生活燃料課
☎ 0270-20-1229

取扱: JA 全農ぐんま

広報誌専用フリーダイヤル

☎ 0120-955-694

<診断・見積・施工>

株式会社 アサnte

午前8:30
午後7:30
(土日祝日も受付)

ゴールデンウィーク期間中の休業日のお知らせ

部署名		4月			5月						
		28日(月)	29日(火)	30日(水)	1日(木)	2日(金)	3日(土)	4日(日)	5日(月)	6日(火)	7日(水)
一般業務		営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
金融・共済窓口業務		営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
ATMコーナー		営	営	営	営	営	営	営	営	営	営
ローンセンター		営	休	休	営	営	休	休	休	休	休
資産運用事業部		営	休	休	営	営	休	休	休	休	休
営農	野菜集送センター	休	営	営	営	営	営※1	営※1	休	営	営
	資材館	営	休	営	営	営	休	営	休	休	営
農機センター		営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
自動車センター		営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
グリーンパレス		営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
とれび庵		営	営	営	営	営	営	営	営	営	営
なごみ庵		営	営	営	営	営	営	営	営	営	営
燃料	東部地域燃料配送センター	営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
	LPガスセンター	営	休	営	営	営	休	休	休	休	営
葬祭ホール		営	営	営	営	営	営	営	営	営	営
直売所		営	営※2	営	営	営	営	営	営	営	営
からか〜ぜ(田中町)		営	営	営	営	営	営	営	営	営	営

○営※1：臨時出荷となりますので、時間と品目が変更となります。

詳細は通知をご覧ください。

○営※2：百菜館・直売所あずま店・直売所あかぼり店は定休日です。

☆状況により、資材館の営業日が変更になる場合がございます。

詳しくは最寄りの店舗でご確認ください。

☆ATMの営業時間は 8:00～20:00

(からか〜ぜATMのみ 8:00～18:30)です。

○休日連絡先

●JA共済事故受付センター	0120-258-931
●JA共済レッカーロードサービス	0120-063-931
●JA共済日常生活事故対応センター	0120-628-931
●LPガスセンター	0270-40-5602
●JAセレモニーホールいせさき	0270-40-5600
●JAメモリアルホールたまむら	0270-65-4436
●JAセレモニーホールあかぼり	0270-62-6262

○東部地域燃料配送センター 緊急連絡先

●いせさき・たまむら地区	090-5505-7700
●あずま・あかぼり地区	090-5509-5757

春の Spring 資材館 大売出し!

JA佐波伊勢崎の各営農センターの
資材館と農機センターで春の大売出しを
行います。ぜひご来場ください。

センター名		開催日	開催時間
いせさき営農センター	資材館	令和 7 年 4月20日 日	各 9:00 ～ 15:00
あずま営農センター			
さかい営農センター			
たまむら営農センター			
あかぼり営農センター			
農機センター			



わたしの生きがい

伊勢崎市茂呂町
はぎわら
萩原 須美子さん

押し花

子供の頃から花が好きで、好きな花はタチアオイだという萩原須美子さん（78歳）。20年前に伊勢崎文化会館で行われた押し花の展示会に感動し、展示会で出会った先生から作り方を学び始めました。今でも週2回は先生の所へ通い、アドバイスを受けています。

始めた頃は押し花を作るだけでしたが、徐々に慣れて作品を制作するようになりました。萩原さんは押し花にした花や葉を使って、1枚の絵のように作りあげます。テーマは風景や動物、季節の行事など多種多様で、実際に訪れた旅行先の風景や雑誌などからアイデアを得ているそうです。これまで30点以上も作り、大きい物は完成するまで半年もかかるそうで「きれいな色の花を使って作品を作れる

のが楽しい」と魅力を話してくれました。

押し花を作るには専用のマットで挟み、5kgの重しを乗せて7〜10日間押し潰して乾燥させます。元々ガーデニングが好きで、庭のバラやグラジオラス、漬すと黒い色が出るため素材として重宝するタケニグサなど、色とりどりの植物を使います。他にも、中身をくり抜いて乾燥させたイチゴ、ナスやタケノコの皮など様々な素材を活かしています。

萩原さんは、高齢になっても指先を使った細かい作業ができることに、幸せを感じているといいます。「健康を維持して、色々な作品を今後も作っていききたい」と笑顔で話す萩原さん。これからも押し花の制作を楽しみ続けていきます。



▲萩原さんと作品



▼桜



◀月下美人

役員のとびら

サイクリング



常勤監事
伊藤 浩

自宅の裏に利根川が流れており、その土手にサイクリングロードがあります。以前、犬の散歩道として歩いていましたが、その時に自転車に乗ってさっそうと走る姿を見て、自分にも出来るかなと思いクロスバイクを購入して走ったところ、その気持ち良さに魅了されました。

お決まりのコースは自宅から右岸を走って北上するコース。玉村大橋のたもとからサイクリングロードに入り、途中の休憩施設で休みながら北上して、吉岡町にある「道の駅よしおか温泉」にある足湯につかります。ここまでで約20km。ここで折り返して、また休憩を取りながら自宅に帰ります。

時々、日頃自動車で行っている道を自転車で走る事があります。「同じ道を走っても、自動車から見る景色と、自転車から見る景色は違う」と言われます。本当にその通りです。

表紙紹介



▲トラクターを運転する祐介さん

表紙の写真は伊勢崎地区で米麦やキャベツを栽培する山口祐介さん親子と従業員の皆さんです。従業員の方々は亡くなった父の旧友だといひます。

祐介さんは就農して12年目で、安全第一をモットーにしています。年配のパートの皆さんを気遣い、稲の苗箱を減らすなど省力化を図っているそうです。一緒に働く皆さんに祐介さんの事を聞くと「収量の向上を目指して、ほ場の管理をマメにしている。また、負担が増えないよう配慮してくれている」と話してくれました。

「父の友人に恵まれて仕事ができている」と話す祐介さん。今後も、生産者が減少する中で、人との繋がりを大切にしながら地域の農業を守っていききたいと意気込みを語ります。